

団体名:私設図書館もん

市民先生



■活動の内容

私設図書館もんは、家と学校、職場以外の居場所、サードプレイス(第三の居場所)をつくりたいという思いで開設された私設図書館。居場所だけではなく、親、友達、先生以外の人と人の繋がりや、本を通じた新しい世界との出会いがうまれるきっかけとなることで、楽しく暮らしていくための選択肢となれば！と活動しています。今回は、市民による市民のための学びの場、「市民先生」活動を視察しました。

- 日 時 令和6年8月20日(火)11時~12時
- 場 所 私設図書館もん(名東区・引山)
- 内 容 市民先生(詩のワークショップ)
- 参 加 6名

今回のテーマは「詩のワークショップ」。講師は落語推しの詩人/エッセイストの市民の方。以前より私設図書館もんを利用されています。「あなたの好きなことばは？」からはじまるトーク。参加者はまず自分に好きなことば、大切にしていることばを発表します。テーブル中央にはなぜか【サンダース】が！発言する人はサンダースを持つルールで、これを手渡ししながら、「なぜ、どうして好きなのか・・・」を話すうち、なんとなく人となり分かり、場が一気に打ち解けます。



導入で自分の名前で【ことばあそび】を行い、その後、【詩】とは何かを、例題やさまざまな話題を交え講義、参加者達も思い思いに意見を言い合います。「形にとらわれなくてもよい!」「タイトルは時間をかけて考えて!」など、アドバイスも受けながら、最後は茨木のり子作【訪問】を朗読。一同、詩の奥深さに感じ入っていました。

一箱本棚が規則正しく、かつ工夫を凝らし展示された館内。コーヒーのいい香りと懐かしいレコードジャケット、また地域のさまざまな情報であふれています。ゆっくりページをめくり思い思いに過ごすのはもちろん、本は購入することも可能で、本好きにはたまらない空間。2階はレンタルスペースになっていて、地域の子供たちも気軽に集まっているとのこと。つい最近、採ってきた竹で流しそうめんをやったと伺い、地域に溶け込み、皆が集まる居場所として存在していると感じました。活動を始めて2年目。まだ新しい団体ですが、想いが確実に地域に届き、実を結んでいることが感じられました。